



## 令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年8月4日

上場会社名 SRSホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8163 URL <https://srs-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 政彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略本部長 (氏名) 池田 訓 TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績（令和5年4月1日～令和5年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	13,885	8.7	149	-	145	-	190	-
5年3月期第1四半期	12,771	41.5	△300	-	△313	-	△191	-

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 316百万円 (-%) 5年3月期第1四半期 △135百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	4.60	-
5年3月期第1四半期	△4.75	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	33,204	14,372	42.2
5年3月期	34,370	14,055	39.9

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 14,020百万円 5年3月期 13,716百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
6年3月期	-	-	-	-	-
6年3月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和6年3月期の連結業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	58,000	6.4	1,500	-	1,400	-	800	-

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期1Q	41,470,184株	5年3月期	41,470,184株
② 期末自己株式数	6年3月期1Q	119,043株	5年3月期	119,343株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期1Q	41,351,060株	5年3月期1Q	40,263,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	令和5年3月期第1四半期			令和6年3月期第1四半期		
	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	12,771	3,742	41.5%	13,885	1,113	8.7%
営業利益	△300	1,172	—	149	450	—
経常利益	△313	△1,234	—	145	459	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△191	△808	—	190	381	—

当第1四半期連結累計期間の業績は、令和5年3月のマスク着用ルールの緩和や令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類の5類への引き下げ、訪日外国人の緩やかな増加等に伴い、社会経済活動の正常化が図られ、来店客数も回復基調となり、売上高は前年実績を上回りました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や為替相場の円安進行、原材料価格やエネルギー価格の高騰、人手不足による人件費コストの上昇等、依然として厳しい経営環境が継続しているものの、前年度に実施した収益性改善に向けた諸施策の効果もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、黒字転換し前年実績に対して大きく増益となりました。

このような状況下、当社グループは、「コロナ影響からの早期回復と既存事業の収益力強化」を基本方針とする中期経営計画の達成に向けて、「天井・天ぶら本舗 さん天」「得得」の既存業態を、より収益性の高い新モデル店舗へ転換を進めたほか、グループアプリの機能の拡充やチェックイン機の導入、配膳ロボット導入店舗の拡大等のDX施策を推進いたしました。また、令和5年2月1日付で子会社化した株式会社NISの仕入や配送、バックオフィス業務の統合に向けた取り組みを開始いたしました。業態ごとの具体的な取り組みや概況については、次のとおりです。

## (和食さと)

和食さと業態では、更なる生産性の向上を目的とし、配膳ロボットの導入を31店舗に拡大したほか、お客様の利便性向上を目的として、アプリで来店受付ができるチェックイン機を58店舗に導入いたしました。また、前年度に引き続き「和食さと初代アンバサダー」として渋谷風咲さんを起用した、TVCMやSNS、折込チラシなど様々な媒体でのプロモーションを実施したほか、期間限定商品として、ほくほくの豆ご飯や桜海老のかき揚げ、南高梅おろしそば等がセットになった「豆ご飯と桜海老のかき揚げ御膳」や、鰹のたたきを贅沢に使用したごま油の香りが嬉しい「鰹のユッケ井御膳」等、初夏の訪れを感じられる商品を販売いたしました。以上の結果、売上高は6,016百万円（前年同期比109.4%）となりました。

## (にぎり長次郎)

にぎり長次郎業態では、来店頻度の向上を目的とし、「にぎり長次郎アプリ」を用いて積極的な情報発信やお得なクーポンを配信したほか、更なる売上高の獲得を目的とし、ぶりぶりの食感と旨味がある「桜鯛」や、こりこりとした食感と甘みのある「活北寄貝」等の旬の食材を使用した期間限定フェア「春旬にぎり第2弾」を開催いたしました。また、ゴールデンウィーク期間限定で「夏、薫る。」フェアを開催し、本まぐろ大トロや活メシまあじ、のどぐる等を使用した「旬の食べ比べ」や、新鮮な活あわびを贅沢に使用した「まるごと活あわび」等を販売いたしました。以上の結果、売上高は3,103百万円（前年同期比103.5%）となりました。

## (天井・天ぶら本舗 さん天)

天井・天ぶら本舗 さん天業態では、更なる生産性の向上を目的としたセルフ型の新型店舗を開発し、既存店の鳴海店を建替え改装することにより令和5年6月にその1号店として開店したほか、昨今の原材料価格高騰の影響を受け悪化した収益性の改善を目的とし、長年維持してきた最低価格390円の改定を含めたグランドメニューの刷新を行いました。また、LINEやInstagramによるプロモーションと並行して、アプリ会員限定クーポンやお得なキャンペーン情報を配信したほか、「Twitterフォロー&リツイート」によるプレゼント企画を実施いたしました。以上の結果、売上高は601百万円（前年同期比86.3%）となりました。同期間の出退店実績は、2店舗を閉店したことにより34店舗となりました。

## (家族亭)

家族亭業態では来店頻度の向上を目的とし、令和5年4月に「家族亭アプリ」を導入し積極的な情報発信やお得なクーポンを配信したほか、お客様の利便性と店舗の生産性の向上を目的とした「スマホオーダー」の導入店舗を拡大いたしました。また、更なる売上高の獲得を目的として、4月には新潟や金沢の発酵食品を使用した「越後新潟・金沢 発酵めぐり旅」を期間限定フェアとして開催したほか、6月には信州の食材を使用した期間限定フェアを実施いたしました。以上の結果、売上高は1,169百万円（前年同期比115.0%）となりました。同期間の出退店実績は、3店舗を閉店したことにより60店舗となりました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に関する記載を省略しております。

## 〔当社グループ 業態別店舗数〕

業態名	前連結会計 年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期 連結会計 期間末	当連結 会計年度 出店計画
和食さと	197 (－)	－ (－)	－ (－)	197 (－)	2
にぎり長次郎・CHOJIRO	67 (－)	－ (－)	－ (－)	67 (－)	5
家族亭※	63 (8)	－ (－)	3 (1)	60 (7)	1
得得・とくとく	60 (49)	－ (－)	1 (－)	59 (49)	1
かつや	45 (15)	1 (－)	－ (－)	46 (15)	7
天井・天ぶら本舗 さん天	36 (1)	－ (－)	2 (－)	34 (1)	2
宮本むなし	26 (2)	－ (－)	－ (－)	26 (2)	－
宅配寿司業態	11 (3)	－ (－)	－ (－)	11 (3)	3
ひまわり	8 (－)	－ (－)	－ (－)	8 (－)	－
からやま	6 (－)	－ (－)	－ (－)	6 (－)	2
M&S FC事業※	24 (－)	1 (－)	－ (－)	25 (－)	4
その他	13 (－)	－ (－)	1 (－)	12 (－)	5
鶏笑	223 (223)	9 (9)	14 (14)	218 (218)	52
国内合計	779 (301)	11 (9)	21 (15)	769 (295)	84
海外店舗	27 (23)	－ (－)	1 (1)	26 (22)	10
国内外合計	806 (324)	11 (9)	22 (16)	795 (317)	94

( ) 内はFC・のれん分け及び合弁事業店舗数

※「家族亭」業態には「花旬庵」「三宝庵」「家族庵」「蕎麦」「蕎菜」業態を含んでおります。

※「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ポポラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「しんばち食堂」業態の合計店舗数です。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、33,204百万円（前連結会計年度末比1,165百万円の減少）となりました。

流動資産は、15,303百万円（前連結会計年度末比1,210百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,118百万円、売掛金の減少276百万円などであります。

固定資産は、17,773百万円（前連結会計年度末比51百万円の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の増加104百万円、差入保証金の減少60百万円などであります。

流動負債は、8,226百万円（前連結会計年度末比962百万円の減少）となりました。これは主に、流動負債その他の減少650百万円、賞与引当金の減少281百万円などであります。

固定負債は、10,604百万円（前連結会計年度末比519百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少247百万円、社債の減少197百万円などであります。

純資産は、14,372百万円（前連結会計年度末比317百万円の増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年5月22日に公表いたしました決算短信に記載の連結業績予想から修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,150,379	11,031,950
売掛金	2,150,927	1,874,248
商品	58,486	59,913
原材料及び貯蔵品	1,105,146	1,198,167
1年内回収予定の長期貸付金	64,654	66,473
その他	988,317	1,076,072
貸倒引当金	△3,793	△3,126
流動資産合計	16,514,119	15,303,700
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,118,524	3,122,816
土地	3,094,528	3,094,528
その他(純額)	2,445,303	2,484,651
有形固定資産合計	8,658,356	8,701,995
無形固定資産		
のれん	1,139,858	1,106,500
その他	860,343	813,810
無形固定資産合計	2,000,201	1,920,310
投資その他の資産		
投資有価証券	636,868	740,871
長期貸付金	624,276	623,798
差入保証金	3,998,578	3,938,452
繰延税金資産	1,433,626	1,458,927
その他	374,044	392,583
貸倒引当金	△4,096	△3,885
投資その他の資産合計	7,063,298	7,150,747
固定資産合計	17,721,856	17,773,053
繰延資産	134,166	127,996
資産合計	34,370,142	33,204,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,888,789	1,623,595
1年内償還予定の社債	935,000	935,000
1年内返済予定の長期借入金	1,051,626	1,048,065
未払金	2,631,668	2,857,671
未払法人税等	81,741	92,894
賞与引当金	470,647	189,535
その他	2,130,172	1,480,138
流動負債合計	9,189,645	8,226,901
固定負債		
社債	4,165,000	3,967,500
長期借入金	3,940,917	3,693,185
再評価に係る繰延税金負債	82,947	82,947
役員退職慰労引当金	27,753	27,753
役員株式給付引当金	29,170	31,780
退職給付に係る負債	23,486	23,486
資産除去債務	1,182,199	1,177,878
その他	1,673,168	1,600,451
固定負債合計	11,124,642	10,604,981
負債合計	20,314,288	18,831,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,077,683	11,077,683
資本剰余金	4,935,240	4,481,953
利益剰余金	△1,543,803	△900,177
自己株式	△120,009	△119,707
株主資本合計	14,349,111	14,539,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,385	332,584
繰延ヘッジ損益	14,471	57,451
土地再評価差額金	△923,897	△923,897
為替換算調整勘定	16,144	14,141
その他の包括利益累計額合計	△632,896	△519,720
非支配株主持分	339,639	352,836
純資産合計	14,055,853	14,372,867
負債純資産合計	34,370,142	33,204,750



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	12,771,451	13,885,200
売上原価	4,418,447	4,887,746
売上総利益	8,353,003	8,997,454
販売費及び一般管理費	8,653,744	8,848,169
営業利益又は営業損失(△)	△300,740	149,284
営業外収益		
受取利息	2,163	1,843
受取配当金	6,815	7,522
受取家賃	16,234	16,229
為替差益	253	8,727
雑収入	27,617	18,826
営業外収益合計	53,082	53,148
営業外費用		
支払利息	30,763	27,275
不動産賃貸費用	11,473	11,921
雑損失	23,701	17,651
営業外費用合計	65,939	56,848
経常利益又は経常損失(△)	△313,597	145,585
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	19,867	—
受取補償金	—	66,065
特別利益合計	19,867	66,065
特別損失		
固定資産除却損	10,126	2,911
減損損失	—	4,110
店舗閉鎖損失	2,217	7,232
特別損失合計	12,343	14,254
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△306,073	197,396
法人税、住民税及び事業税	50,385	69,895
法人税等調整額	△176,405	△76,037
法人税等合計	△126,019	△6,142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△180,054	203,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,161	13,197
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△191,215	190,341

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△180,054	203,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,785	72,198
繰延ヘッジ損益	34,175	42,980
為替換算調整勘定	△351	△2,003
その他の包括利益合計	44,609	113,175
四半期包括利益	△135,444	316,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,606	303,517
非支配株主に係る四半期包括利益	11,161	13,197

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当社及び当社の連結子会社である株式会社NIS（以下、「旧NIS」という。）は、令和5年4月18日開催の取締役会において、当社が令和5年4月12日に設立した株式会社NIS（以下、「新NIS」という。）を承継会社、旧NISを分割会社として、効力発生日を令和5年7月1日とする会社分割（吸収分割）を実施することを決議いたしました。このため、当第1四半期連結会計期間において、新たに設立した新NISを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日）

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和4年5月13日 取締役会	普通株式	199,359	5.00	令和4年3月31日	令和4年6月30日	利益剰余金

(注) 令和4年5月13日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金595千円が含まれております。

## 2 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ424,136千円増加いたしました。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日）

## 1 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2 株主資本の金額の著しい変動

令和5年5月22日開催の取締役会決議に基づき、同日付で資本準備金を414,875千円減少させ、同額をその他資本剰余金へ振替えるとともに、その他資本剰余金453,283千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を実施しております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日）

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。